

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
1	10	名取 武一	(1) 福祉医療の無料化について	① 県は、子どもに係る福祉医療制度について支援を拡充した。これを機会に18歳まで医療費無料化を拡充すべきではないか。	町長
				② 町内でも福祉医療費窓口無料化の声が高い。既に40近い都道府県で実施されている現在、長野県でも実施すべきと県に声を上げるべきではないか。	
			(2) 定住自立圏について	① 北杜市を中心市とする定住自立圏の内容は。富士見町にとってどんなメリットがあるのか。デメリットを考えていないか。	町長
				② 定住自立圏構想は、将来合併を前提にとの考えも、また行政中枢機構を中心市に集中させるとの考えもある。住民の理解を確認するとともに、参加は慎重にすべきでは。	
			(3) 介護保険について	① 介護報酬削減により、町内の介護施設に対する影響は。支援する必要はないか。	町長
			(4) 通学路の除雪について	① 通学路の除雪について、区内児童の通学路の除雪はしているが、他区児童の通学路の除雪をしていない部分が見受けられる。調査して、該当区、該当育成会などと調整して解決を図るべきではないか。	町長
(5) 町の自然保護について	① 町の自然保護について、担当部署とその活動内容は。	町長			
2	7	小池博之	(1) 第5次総合計画と地方創生について	① 国の地方創生総合戦略を、計画策定の中に組み込み、今後のまちづくりに具体的にどう反映するか。	町長
				② 昨年、日本創成会議の報告が衝撃を与えた。「30年後には全国の市町村の半数が消滅する可能性がある」と予測したレポートでは、当町は該当していないものの、人口は12,000人に減少が予測される。「人口の維持」を計画の柱としている町長の見解は。	
				③ 町の総合戦略策定の中で、自治体間の連携(諏訪広域)をどのように位置づけ、具体的かつ実践的に対応するか。	
		(2) 八ヶ岳定住自立圏連携について	① 「八ヶ岳定住自立圏」の形成に向けて、県境を越えて3市町村が連携する意義は。町民の理解は得られるか。	町長	
			② 今後、圏域設立に向け協定の締結、秋の事業着手を目指すと言われていたが、実行段階における課題は。		
			③ 県境を越えた広域連携の枠組みに、諏訪圏市町から戸惑いの声も聞かれる。国の施策を先取りした英断とも言われるが、諏訪圏域内の調整と、首長間のコンセンサスは得られているか。		

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
2	7	小池博之	(3) 地域安心ネットワーク事業について	① 町の地域安全ネットワーク体制づくりがスタートして3年が経過した。事業の中心となる「地域支え合いマップづくり」の遅れが憂慮される。39集落の内、支え合いマップづくりの作業に着手できない区が12集落ある。事業が遅延している要因と、対応策は。自主防災との連携は。	町長
				② 支え合いマップを作ったものの、内容の更新が進まないケースも見られる。年に1回以上の情報更新作業をどう進めるか。	
				③ 支援を希望する町民に対し「個人情報登録同意書」の提出を呼びかけているが、対象者約3,000人に対し、これまで提出者は1,765人(58%)にとどまっている。対象者への理解とアピールについての考えは。	
3	6	宮下伸悟	(1) 今後の空き家対策について	① 空き家の実態把握における現状と課題は。	町長
				② 空き家対策特措法が2月末をもって施行されたが、空き家対策並びにその活用を促進するための方策において、今後どのように生かしていく考えか。	
			(2) 町政運営の透明度を高めるための情報施策の拡大について	① 平成26年3月定例会の一般質問で、PDF化した議案書データの町HPへの公開について検証と議論を行うとの答弁があったが、その後の経緯はどうなっているか。	町長
				② タブレットやスマートフォンなど、パソコン以外でもPDFデータが閲覧可能なネット端末の普及は引き続き拡大しており、議案書PDFデータのHP公開は町政運営の透明度を高めるための情報施策として十分に効果的、且つ直ちに取り組めるものと考えているが、どうか。	
			(3) 区・集落との協働における課題について	① 人口が少ない区・集落ほど相対的に増大せざるを得ない役員の負担感、緊急時対応力の格差拡大に対する具体的方策として、公益的活動への支援や運営サポートを行う新たな「集落担当職員」制度を、人口減少や高齢化が著しい区・集落に限定する形で改めて検討するべきではないか。	町長
4	9	加々見保樹	(1) 北杜市を中心市とする定住自立圏構想について	① 協定締結後の共生ビジョンはどのようなものを盛り込む考えか	町長
				② 事業を実施する予算は27年度当初予算に盛り込まれているのか	
				③ 昨年暮れ突然の発表に戸惑っている諏訪圏の自治体があると聞く。今後どのように説明し納得してもらうのか	
				④ 長期的には行政の軸足を徐々に移行していくことも選択肢にあると考えてよいのか	

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
4	9	加々見保樹	(2) 第5次総合計画について	① 第4次総合計画の達成率は。また特に成果を誇れるものはなにか	町長
				② 平成23年に総合計画の策定義務が撤廃されたが、第5次総合計画を策定する理由はなにか	
				③ 策定義務が廃止にも関わらず策定することは人的コストや時間的コストが発生すると思うが	
				④ 総合計画策定は庁舎の一大イベントだが完成すると名ばかりの物に等しいと聞いたことがあるが見解を	
				⑤ 膨大な計画を立てても住民の関心は極めて低い(住民説明会の参加者の少なさ)と思うが見解を	町長
				⑥ 樹立した計画を実行中に異なるマニフェストを掲げた首長が誕生した時の整合性はどのようにするの	
				⑦ 人口維持のためテレワークによる移住者確保を計画しているが、町の魅力を地震に強く安全、自然環境が素晴らしい等アピールしているが、果たしてそれだけで都会を離れて田舎に移住するための魅力とを感じるだろうか	
				⑧ 4次総合計画にも「武力攻撃に備え国民保護法の推進を図る」の項目があったが、実際訓練等の推進を行ったのか。5次では実行できるのか。また国民保護計画のどこを見直すのか	
				⑨ 転入者や区未加入者への加入を促進 効果的な具体策はあるのか	
				⑩ 第5次総合計画に住民アンケートの結果が反映された項目はどこか	
		(3) 介護保険制度の改正について	① 予防給付のうち、訪問介護、通所介護が市町村が地域の实情に応じて実施する地域支援事業へ移行し、新しい「介護予防・日常生活支援総合事業」として実施することになるが、町はどう対応していくのか	町長	

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
5	8	佐久祐司	(1) 藤内遺跡出土品重文指定の追加指定について	① 平成24年に購入した藤内遺跡出土品の重要文化財追加指定の進捗状況は。	町長
				② 重要文化財指定にあたり改めて修復が必要とのことだが、費用はどのくらいかかるのか。	
				③ 文化庁指定の修復方法に問題があるとの意見もあるが、どのように考えるか。	
				④ 重要文化財指定後、どのように活用していくか。	
				⑤ 重要文化財指定にあたり、考古館の老朽化をどのように考えるか。	
6	2	小池 勇	(1) 財政健全化について	① 健全財政の維持を「5次総」で目標に掲げた意図はどこにあるか	町長
				② 平成26年度普通会計における、積立金、地方債、差し引き債務超過額の見通しは	
				③ 債務超過額の目標値と考え方は	
7	4	小林市子	(1) 農村地域内循環で経済効果をもたらす施策について	① 地域資源を積極的に活用するなど地域内調達率を高める為に、地域内投資をして雇用や所得を生み出している事例は。	町長
				② ヒートポンプの試験的事業を一部の農家で進めて来た投資効果と将来性への評価は。	
				③ 西山地域の荒廃農地に適応する農産物(ルバーブはシカの食害に強い上に、1株から2~3回収穫出来る。)で、荒廃化を抑制し、町の特産品の需要に応えられる取組で、持続性を高める考えは。	
				④ 農地中間管理機構では、魅力ある産地化を目指し、荒廃農地を有効利用し、継続や効率化を図る集落共同活動や6次産業化も視野にあります。耕作放棄地解消を目指す取り組み方法は。	
			(2) 地域創生、農山村復活と言う重点施策について	① テレワークオフィスへの申し込み状況は。	町長
				② テレワークオフィスとシェアオフィス事業の長期計画で、人口減少を防ぐための課題としているが、その詳細計画は。	
				③ 改修予定のテレワークオフィスは、夏に最適な環境と建物の構造であるが、冬の厳しさを乗り越えるための条件をどの様に紹介しているのか。	

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
7	4	小林市子	(3) 「富士見町の生物多様性」関連事業の取り組みについて	① 南アルプスエコパークの移行地域として、希少植物の釜無ホテイアツモリソウの再生、入笠湿原の山野草の保護等々を担う長期計画は。	町長
				② 「信州生物多様性ネット きずな」が県環境部 自然保護課が事務局となって設立準備を進めています。調査・研究活動の取り組みに加入し、普及する考えは。	
8	5	平出隼仁	(1) 除雪について	① 歩道の除雪に対して、町の取り組みは。	町長
			(2) 釜無川漁業協同組合が運営する釣り堀について	① 運営する釣り堀をより活かしたい、町の見解は。	町長
9	1	三井新成	(1) 町内への企業誘致について	① 地方創生により企業誘致が進むと思われるが町長の考えは。	町長
				② 富士見町内を希望する企業の問い合わせ状況は。	
				③ 諏訪南インター東側の林地を工業パークと位置づけて、企業誘致をする考えは。	
				④ 企業誘致に合わせてインフラの整備をする考えは。	
			(2) 第5次総合計画について	① 計画の目標が政策となった理由は。	町長
				② 財政的裏付けの標記が無いが、追加する考えは。	
				③ 工業・商業の振興、雇用の確保が、継続事業となっているのは今以上の進展が期待されないと考えているのか。	
			(3) 耐震シェルターの補助について	① 木造住宅の耐震化の診断と、改修工事の現状を町としてどう考えているか。	町長
				② 改修工事に比べて費用や工期が少なく済む耐震シェルター設置補助を出す考えは。	
			(4) 町道の整備について	① テクノ街道から中央道の側道にかけて一部の改修拡幅をする考えは。	町長
				② テクノ街道の除雪方法を見直す考えは。	

番号	議席	氏名	質問事項	質問要旨	答弁者
10	3	五味平一	(1) 定住自立圏構想について	① 定住自立圏構想について中心市の北杜市が宣言されたが、富士見町の参加経緯を時系列に。	町長
				② その定住自立圏の基本的考えは。	
				③ ハヶ岳定住自立圏構想の具体的目的は。	
				④ この定住自立圏構想は議会の議決を経た上でとあり、条例改正が必要であるが、参考知識として定住自立圏形成協定の概要は。	
				⑤ 今後、定住自立圏形成協定から共生ビジョンの策定までのスケジュールは。	
			(2) まち・ひと・しごと創生総合戦略と第5次総合計画について	① テレワーク構想・ワインバレー構想・レタス100Ha構想についての推進状況。及びこの事業における予定就業人口数は。	町長
				② まち・ひと・しごと創生は人口減少問題の克服にある、町は大胆な発想の転換を求められると思うが考えは。	
				③ まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要)、今後の施策の方向の項目、1. 政策の基本目標(4つの基本目標)について町に当てはめた場合についての考えは。	
			(3) 教育長退職における選任について	① 退職は一般的には一ヶ月常識的には二ヶ月以上前に申し出る、町長はいつの時点で知り得たか	町長
				② いまだ選任されないのは何か特別の理由があるのか。	
				③ 町民は、教育長不在未選任を不義・不審に思っている町民に対して町長の思いは。	
				④ 今後も欠員補充にこのようなスタンスで行うのか。	

3月 9日(月) 1～5番 (5名)

3月 10日(火) 6～10番 (5名)